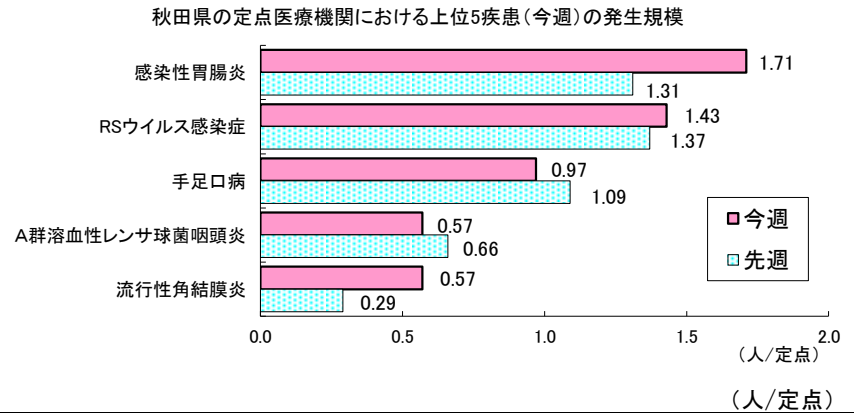


【第41週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で31%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、秋田市、大仙、横手で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で4%増加しています。保健所別では、秋田市、能代、由利本荘で増加、大仙、横手で同規模、大館、秋田中央、湯沢で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で11%減少しています。保健所別では、大館、北秋田、湯沢で増加、能代で同規模、秋田市、秋田中央、由利本荘、横手で減少しています。



発生報告
 < 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減			
RSウイルス感染症	1.37	1.43	↗	3.29	3.57	↗	0.25		↘				0.33	0.67	↗	0.50	0.25	↘	0.75	1.25	↗	0.25	0.25		4.00	4.00		1.25	1.00	↘
インフルエンザ	0.02		↘																0.17		↘									
咽頭結膜熱	0.40	0.31	↘	0.29	0.29		0.25		↘							0.25	0.25					0.25	0.50	↗				2.25	1.50	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0.57	↘	0.71	0.86	↗		0.25	↗				0.33		↘	0.50	0.75	↗	0.50		↘	1.00	2.00	↗	1.00	0.33	↘	1.50	0.25	↘
感染性胃腸炎	1.31	1.71	↗	2.00	0.57	↘	0.50	1.00	↗	0.50	1.50	↗	5.33	8.67	↗	1.25	1.50	↗		1.25	↗	0.25		↘	2.00	1.67	↘	0.25	1.75	↗
水痘	0.06	0.09	↗								0.50	↗					0.25	↗										0.50	0.25	↘
手足口病	1.09	0.97	↘	1.86	1.14	↘	1.75	2.50	↗		1.00	↗	0.67	0.67		0.25		↘	2.75	2.00	↘				1.33	1.00	↘		0.25	↗
伝染性紅斑	0.09	0.03	↘	0.14		↘										0.50	0.25	↘												
突発性発しん	0.37	0.17	↘	0.86	0.14	↘	0.25		↘	0.50		↘				0.25	0.25		0.50	0.75	↗		0.25	↗	0.33		↘	0.25		↘
百日咳																														
ヘルパンギーナ	1.00	0.26	↘	2.00	0.71	↘	2.50	0.50	↘	0.50		↘	1.00	0.67	↘	1.00		↘	0.25		↘	0.25		↘	0.33		↘			
流行性耳下腺炎	0.03	0.17	↗		0.43	↗								0.33	↗								0.50	↗				0.25		↘
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.29	0.57	↗	0.67	0.67					*	*		*	*		*	*			1.00	↗		1.00	↗			*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	3.13	3.13								1.00	2.00	↗	3.00	3.00		*	*		3.00		↘	6.00	6.00		3.00	6.00	↗	9.00	8.00	↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点当たりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が横手保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性インフルエンザ感染症が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-40週 全国	秋田	41週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	ペスト			
	南米出血熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	17325	89	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	7		
	細菌性赤痢	120		
	腸管出血性大腸菌感染症	3313	33	1
	腸チフス	30		
	パラチフス	13		
四類	E型肝炎	247	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	225		
	エキノコックス症	22		
	黄熱			
	オウム病	10		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	7		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	3		
	重症熱性血小板減少症候群	81		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎	2			
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-40週 全国	秋田	41週 秋田
四類	テングニア熱	3		
	つつが虫病	114	8	
	デング熱	202		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	263		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	3		
	マラリア	46		
	野兔病			
	ライム病	18		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	1313	5		
レプトスピラ症	29			
ロッキー山紅斑熱				
五類	ア메ーバ赤痢	829	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	223		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1238	11	
	急性脳炎	540	4	
	クリプトスポリジウム症	9		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	154	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	426	10	
	後天性免疫不全症候群	1049		
	ジアルジア症	46		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	280	2	1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	20		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2457	20	
	水痘(入院例に限る。)	229	10	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	4345	7	
	播種性クリプトコックス症	100	2	
	破傷風	103		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	62		
風しん	70			
麻しん	185			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	18	1		

トピックス

<レジオネラ症に気を付けましょう>

レジオネラ症の患者報告数が、全国的に年々増加しています(図)。秋田県内の患者報告数は第41週までに5件と、昨年に比べると少なく推移しています。しかし、年間を通じて患者報告がありますので、次のことに留意して感染予防に努めましょう。

■レジオネラ菌について

レジオネラ症の原因となるレジオネラ菌は、もともと土壌や自然環境の水に存在する細菌で、土ほこりやエアロゾル(細かい水滴)等を吸い込むことで感染します。ヒトからヒトへは感染しません。国内では入浴施設が感染源となることが多く、集団感染事例の報告も少なくありません。また、農作業や散水作業などにより感染することもあります。

■症状

レジオネラ症は「レジオネラ肺炎」と「ポンティアック熱」の二つに分けられます。レジオネラ肺炎は、免疫力の低下した人が発症しやすく、特に高齢者や悪性疾患等により免疫力の低下した人、免疫がまだ不十分な新生児等では、重症化する危険性が高いため注意が必要です。ポンティアック熱では、発熱、悪寒、筋肉痛といった症状がでますが、通常は一過性で治癒します。

■予防について

循環型の24時間風呂を使用しているご家庭は、循環装置の清掃や浴槽水の交換を定期的に行いましょう。また、加湿器などのタンク内でもレジオネラ菌が増殖することがあります。水はこまめに交換し、使用しない時は水を抜いて乾燥させておきましょう。農作業や散水作業の際には、マスクを着用することで土ほこりやエアロゾルの吸入を防ぐことができます。

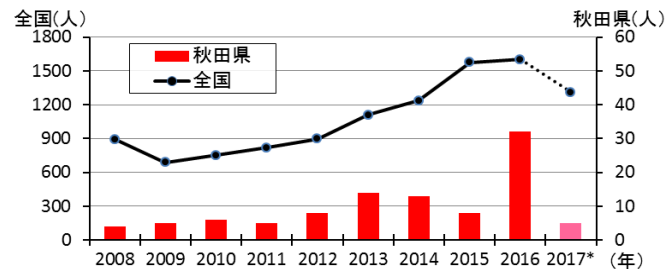


図 全国・秋田県におけるレジオネラ症の患者報告数の推移
(* 2017年: 全国は第40週まで、秋田県は第41週まで)

感染症の集団発生報告

かぜ様症状による集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成29年10月16日
 受付保健所 大館保健所
 施設名称 大館市養護老人ホーム成草園
 有症者数 利用者60名のうち11名
 把握期間 10月4日から10月16日まで

RAPIDS<topics> Report on Akita Prefectural Infectious Disease Situation

<http://idsc.pref.akita.jp/kss/>



秋田県感染症発生情報

秋田県健康福祉部健康推進課 TEL: 018-860-1424/ FAX: 018-860-3821

秋田県感染症情報センター(秋田県健康環境センター内) TEL: 018-832-5005/ FAX: 018-832-5047

【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
咽頭結膜熱	-	湯沢(1.50)

感染症発生動向調査における注意報・警報について(解説)

【警報・注意報の定義】

- 1) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
- 2) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。

対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報	対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)		開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)
インフルエンザ	30	10	10	百日咳	1	0.1	-
咽頭結膜熱	3	1	-	ヘルパンギーナ	6	2	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	流行性耳下腺炎	6	2	3
感染性胃腸炎	20	12	-	急性出血性結膜炎	1	0.1	-
水痘	7	4	4	流行性角結膜炎	8	4	-
手足口病	5	2	-	伝染性紅斑	2	1	-